



●全札所を
結ぶ
情報紙

発行所／伊予鉄不動産株式会社
「へんろ」編集部
松山市平和通6-98 ☎089(948)3192
監修
四国八十八カ所霊場会
印刷／松山 アマノ印刷
・1部 60円 ・郵送料 60円
・1年契約 1,440円(郵送料込み)

(昭和59年7月16日)
第3種郵便物認可

明德短大生 5日間の遍路旅

お接待に力づけられて

教室で学べぬ貴重な体験

今治明德短大の「十八年度歩き遍路体験学習」が九月十五日、四十四番大寶寺で結願した。同学は平成十三年度から歩き遍路を地域文化論として正規のカリキュラムに編入、毎年五日間の実習を続けている。

十一日三十九番延光寺をスタートしたのは学生十九人と教職員七人。最初の難関・松尾峠を越え、菩提の道場(愛媛)

三日目、昨日につづいで雨。足をとられながらも函長峠を越えて明石寺へ、そして西予市泊り、鳥坂峠を越え札掛大師堂・

五時前、木立に囲まれた山の寺は早薄暗い。大寶寺本堂前で学生が寺の縁起などを紹介して無事結願、互いの健闘を喜び

入り。二日目は旧内海村の柏坂。この日は遍路道の復元、整備に関わった寿川忠夫さんが同行。頂上付近のつわな奥展望台で、寿川さんの母親手作りのお饅頭をいただいた。

十夜ケ橋を経て内子町。最終日、明るいうちに結願したいと六時前に出発。下坂場峠を越え、最後の難所・鶴田(ひわた)峠。残る力を振り絞って坂を越える仲間に、渡辺弘樹くんは大きな声で歌い励ました。

伊藤奈保子さん(二年)は「最初はしんどかったが、三日目雨の函長峠を越えた辺りから自信が出てきた。その後は楽しかった。歩いてよかった」と思うが、皆と一緒だったから。道中のお接待に力づけられた。本当に嬉しかった。

社会人入学の藤野啓之さん(四〇歳)は「思ったよりきつかったが、日常生活では体験できないこと。お接待は嬉しかったし、古い遍路道を整備してくださる人に感謝」。

昨年につづいての平野貴子さん(二年)も「昨年楽しかったので、今年も参加させてもらった。昨年は海、今年は山。また来たい」。



鳥坂峠を下る明短生



暮れかけた大寶寺本堂前で結願を喜ぶ一行

歩き遍路体験学習は「自立心・忍耐力・連帯感を身につけ、自然との共生、地域文化に関心を持つ人づくり」を目指して星島一夫前学長(故人)の発案で実現した科目。体験後のレポートを見るかぎり、星島前学長の目論見は伝わっているようだ。教室では学べない貴重な体験が、学生たちを大きく優しく育てるものと期待している。